

広報 
No.691
令和3年

いいたて

9
2021

アブラゼミだ、
やった！



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

www.vill.iitate.fukushima.jp

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「いいたてオリンピック」
- 4 特集「担い手の手から手へ」
- 10 ほけんとふくし「長寿番付」
- 11 ほけんとふくし「コロナワクチン」
- 12 飯館百景「過ぎゆく夏の日」
- 14 生涯学習課から「飯館の種火」
- 15 学びの広場「上智大学との交流」ほか
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／ままでの食卓
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙

『ままでの里のこども園』の子ども達が虫捕り網を持って園の周りを探検していました。並木の間でアリ達の行き先を追いかけたり、セミの鳴き声に耳を澄ませたり、身近な自然を相手に夏の日を楽しんでいました。表紙の写真は、アブラゼミを網で捕まえた園児がそっと手に取り目を輝かせていたシーンです。

村の夏を彩る「いいたてオリンピック」

村民の皆さんが思いをこめて大輪の花を咲かせました

庭に畑に店先に
たくさん咲いたよ！

この夏、村内のさまざまな場所、この大輪の赤い花が咲きました。青い空に映える鮮やかな色と、迫力のある大きさ。1つの花が咲くのは1日限りですが、毎日次々と新しいつぼみが開いていきます。

この花の名前は、『いいたてオリンピック』。村専用の品種として開発され、販売には開発元の許可を要します。苗は毎年5月下旬に、『いいたて村の道の駅までい館』の直売所で販売され

ています。

村のイベントなどで苗を配布したこともあつて、多くの家庭で栽培されているようです。玄関先に大きな鉢を置いたり、生け垣のように植えたり、花壇をつくったりと、民家や商店、畑など、多くの場所で『いいたてオリンピック』が咲きました。中には一般的なタイタンビカスや白い花も見受けられ、そのバリエーションが一層にぎやかに、村の夏を彩っていました。



交流センター「ふれ愛館」の花壇にも、大きく育った『いいたてオリンピック』が大輪の花を咲かせて、訪れる人を歓迎していました。



英工務店（白石）前の花壇にも大きく育った「いいたてオリンピック」が見事に咲きました。『いいたてオリンピックの会』の会員にもなっている同工務店の高橋ミヨ子さん（上飯樋）が中心となり、従業員と共に3年がかりで手入れをしてきました。「オリンピックに合わせてきれいに咲かせようと育ててきました」。（写真は8月5日撮影）

いいたてオリンピック



タイタンビカスの新品種で、鮮やかな赤色の花を次々と咲かせます。『いいたて村の道の駅までい館』の運営に協力する園芸企業『赤塚植物園』（本社・三重県津市）が、飯館村専用品種として開発し、村内でも平成30年から栽培されています。『いいたてオリンピック』という名前は、東京2020オリンピック・パラリンピックに合わせて村を彩ってほしいと名付けられたものです。



行き交う人に楽しんでもらおうと、遊休地や道路沿いの花壇に植えている地域もあります。（写真は小宮地区・県道沿いの花壇）

動き出した第2世代！農地の新たな担い手達

13区営農組合

つなぐ 熱き思い

3年位前から勧誘されてました

後輩達にはまだまだ負けらんない

戦力になれるよう頑張りたい

やりがいほ、もう、あり過ぎる
触れるもの全てが新鮮です

13区営農組合の第2世代、左から、佐藤一也さん、今野秀美さん、細川栄喜さん、細川哲也さん。4人とも上飯樋地区の出身。父親と代替わりで加わった人も、2代そろって働く人もいます。

地域の農地を守りながら やりがいある仕事を創る

「農地中間管理事業」を先駆的に活用して上飯樋地区（13区）の農地を集約。地域の担い手集団として、その農地の活用にあたってきた「13区営農組合」。任意の団体として立ち上げた組合を、令和元年の秋に法人化。全組合員が理事になるなど公平な運営を旨として、さらには農地を預ける地域の人への利益還元も図ってきました。

昨年以來、初期メンバーの息子さん世代の加入が続き、新しい戦力となっています。

代表の細川強さん（上飯樋）は、法人化の当初から、「この仕事は次世代にとって、よりよい仕事になるよう努めたい」と一貫して話していました。その思いが想定よりも早いスピードで、現実となっています。第2世代の加入は、この取り組みの継続に欠かせないもの。未来に思いをつないでいきます。



喜多方市の企業と共同で、工業製品に活用する「ケナフ」を試験栽培。他にもドローンを使った作業を受託するなど柔軟に業務の幅を広げ、広域的な活動にも積極的に取り組んでいます。



法人化前の令和元年、広大な遊休地にヒマワリを植えて農地の緑肥としました。「苦労があったと思います。この地道な取り組みがあってこそ今の今です」と若い世代がその背中を追っています。

特集

担い手の

手から手へ

6年に及ぶ全村避難を経て、新たなふるさとづくりを進める飯館村で、大きな推進力となっているのが「ふるさとの担い手」の取り組みです。

先駆者の挑戦が、新たな「担い手」の獲得につながっています。一方では全く新しい自分の夢に挑戦している「担い手」もいます。そして震災前の仕事を磨き直すベテランの「担い手」も。それぞれの「仕事」とその原動力となっている思いを聞きました。

間もなく刈り取りが始まるWCSのほ場
（13区営農組合）

※WCS＝ホールクロップサイレージ



つなぐ 農地に花

農地を生かし 花農家として一步一步

花井由貴さん(大久保・外内)



花農家として独り立ちして3年目。「しえるふぁーむ」の代表として、カスミソウやストックの生産に取り組んでいます。ストックは、今年1月、新成人に贈る花束にも使われました。夫の実家の農地を生かし、4棟のハウスでカスミソウを栽培。この夏は露地でヒマワリの契約栽培にも挑戦しましたが、台風の影響で思った本数が出せませんでした。「カスミソウも今年は非常に生育がよくて楽しみにしていたのですが、天候の影響で一気に咲いてしまい、出荷が追いつきませんでした。可能な限りは出荷しましたが、もっと市場に出せたのにと悔しい思いをしました。次こそはきつと!」。

カスミソウは切り戻して、秋に再び出荷の時期を迎えます。そんな中、由貴さんは夫の準一郎さんと2人で、新たなハウスを建てています。「節約しようと、材料を購入し、自分達で建てています。強風をしのげるよう太いパイプも使いながら」。3人の子育てをし、花を出荷しながら、ハウスを建てるバイタリティ。PTA活動や村の事業への協力も惜しみません。共に歩んでくれる準一郎さん、できることを手伝おうとする子ども達の存在が、由貴さんを支えています。様子を見に来る花農家の先輩達や、おかずを差し入れてくれる近所の皆さんも、心強いサポーターです。

「しえる」はフランス語で「空」の意味。手作りの看板は由貴さんの実父からの誕生日プレゼント。「871」は「はない(花井)」、かわいらしい5匹のリスは花井さん家族を表しています。



「(いい牛に育つのは)愛情のかけ方なんです」と豊洋さん。クツワ掛の農場の牛達は人懐こく穏やかに暮らしていました。「自己満足かも知れないですが、やっぱりいい牛を育てたい」。



つなぐ 牛飼いの技

愛情をかけて いい牛を育てたい

佐藤豊洋さん(飯樋町)



「母はそろそろ引退してゆつくりするのでもいいなあと言うけれど、父は繁殖農家をやる気ないですね」と笑う豊洋さん。豊洋さんも50頭ほどの親牛を自分の牛として飼い、繁殖農家として独立していて、父隆男さんの牛の出産なども手伝っています。「(牛の飼育は)常に勉強をしながらやっています。多少の失敗はあったとしても、時代に合わせた進化も大切に考えてやっていきたい」。市場のデータも検証し、購入者が求める牛の傾向などにも注目。血統のよい牛の受精卵を使い、価格を抑えながらいい牛を生産する試みなど、実験的な取り組みも行っています。

豊洋さんは、牛農家としてさまざまな考えをめぐらせ、自分が育てる牛のこととはもちろん、生産に関わる人や業界全体にも熱い思いを持っています。「ここまで大きくしてきた親父には先見の明がありました」と語る豊洋さんにも、そのまなざしが既に備わっています。



味の違いが楽しい数種のミニトマトはお孫さんもお気に入り。発送時はそれぞれ小分けの袋に梱包して箱詰めされます。こんなにあって1箱2,000円(送料別)。

県の補助金を活用して整えたハウスが建つ畑には、たくさん野菜が所狭しと植えられています。この夏は小学生のお孫さんが2人で泊まりに来て、採りたて野菜で料理を楽しんで行ったそう。官民合同チーム(福島相双復興支援機構)の紹介で、季節の野菜の箱詰めを首都圏などの家庭に発送する取り組みも、スタートして4年ほどになります。「私の野菜づくりは趣味の世界。それでもおいしいと食べてもらえることは本当にうれしい」。リンドウやユリなど花きの生産者として、市場や道の駅に出荷をしながら、日々忙しく働いています。「戦後に開墾してここを拓いた親の苦労を思うと荒らしておけない、できることだけでもやっていこうと。こうして体を動かしている方が、元気でいられますしね。農地が少しずつ広がっていて、お父(夫の安見さん)からは、ほどほどにしてね...と言われています(笑)」。

「ふるさとの担い手」をバックアップ！ あなたの「やる気」を応援します

家族で食べる分だけとつくっていた作物を出荷してみたい、ハウスを補強し強風などに備えたい、新しいスタイルの農業に挑戦してみたいなど、ステップアップする農業の取り組みを支援しています。

問 産業振興課農政第一係 ☎0244-42-1621

事業の立ち上げ・再開などで補助金を活用できる場合があります。まずは事前にご相談ください。村・県・国の支援につなげます。

問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620

やってみたいこと、続けたいこと、担い手一人ひとりの取り組みを応援します。村に関わる人はみんな「ふるさとの担い手」。多様な取り組みが新しい村を形づくっていきます。

つなぐ 開拓の心



除染後の農地での花き栽培は今も試行錯誤だそう。土壌改良にも取り組んでいます。手にしているのは県が開発したリンドウの新品種『天の川』。「来年はこの花も出荷してみたいですね」。

つなぐ 料理で感謝



専門学校で調理を学び、福島市の結婚式場、国見町の道の駅で、宴会場やレストランの調理を担当してきた佐藤さん。「村の中にもっと食事ができる店があるといいね」という声を聞いていて、震災から10年の節目に村で洋食店を開こうと決めました。「自分が育った飯館村に、自分は何もできていない。経験を生かして、お世話になった人や村に恩返しをしたい」。会社を辞めて、独立の準備を始めました。「村で働きたいという思いはずっと前からありました。得意な洋食をメインに、県内産の食材を使って、料理で地域おこしがしたい」と言います。「郷土料理のアレンジなどもやってみたい。他から来た人に地域のよさを感じてもらえるような」。地元の野菜を使う時には顔が見えるような紹介をして、生産者の応援もしたいと考えています。

故郷で始まる 料理の地域おこし

佐藤雄紀さん(二枚橋・須賀)



レストランへの改装が予定されている建物。県道原町川俣線を見下ろす高台にあります。おいしい料理と味わう人の笑顔でにぎわう日が待ち遠しいですね。

今日も明日も仲間と共に

び さい れんと
までい工房美彩恋人



この夏登場した新商品。左から、エジブラー油、プリン、ジェラート。「いいたて雪つ娘」の甘みや風味を活かしたラインアップ。「道の駅までい館」直売所で販売中。

つなぐ 大切な種



左から、加藤真里子さん、渡邊代表、熊谷則子さん。加藤さんと渡邊代表は姉妹です。この日はカボチャの「デベソ」を取り、実の下にマットを入れ、日焼け止めのテープを貼る作業。丁寧に色白カボチャを育てます。

農業高校の校長も務めた菅野元さん(宮内)が開発したカボチャ「いいたて雪つ娘」。その種を全村避難の間もつなぎ、生産する仲間を増やしながら、菓子やカレー、ドレッシングなど、魅力的な加工食品を開発してきました。『までい工房美彩恋人』は、避難先で事業を継続し、避難指示の解除後は村内でも営農を再開。そしていよいよ、代表の自宅に併設の加工場を再整備して、村での事業再開に踏み出します。まずは凍み餅、凍み大根の仕込みから。「昨冬やってみて、やはり村の寒さがおいしい凍み物をつくると実感したんです」。避難先から運んで来ている料理のデリバリー、さらには農泊事業も、いずれは村でと考えています。避難先では人には見せない苦労もありましたが、当時を支えてくれた多くの人のつながりが、工房の魅力を高めています。

● 新型コロナワクチン接種に関するお知らせ ●

連日の報道にあるとおり、新型コロナウイルス感染症が全国的にピークの見えない感染拡大傾向にあります。県内でも、8月に入り新規感染者数が過去最多となる1日あたり230人を記録、連日100人前後の新規感染者が確認されるなど、感染の急拡大が続いています。

この感染拡大を抑え込むために、私たちが今すぐできることがあります。それは、人が集まる機会を避け、基本的な感染対策を一人ひとりが確実に実践することです。

新型コロナワクチンの接種方法について

新型コロナワクチンの接種は避難先の市町村で受けることができます。接種方法は市町村ごとに異なりますので、避難先での接種を希望される方につきましては、接種時期、予約方法、手続き等、避難先市町村からの情報にご留意ください。

1. 村内にお住まいの方・福島市に避難されている方

福島市の予約開始時期に合わせて予診票等を発送しています。市では、若い世代に新規感染者が増えていることを踏まえ、感染拡大防止、重症者抑制を目的に若年層からワクチン接種を進めています。

9月7日からはすべての年代での予約が開始されます。予約枠は今後10月にかけて順次公開されていきますので、福島市ホームページなどの情報を注視してください。

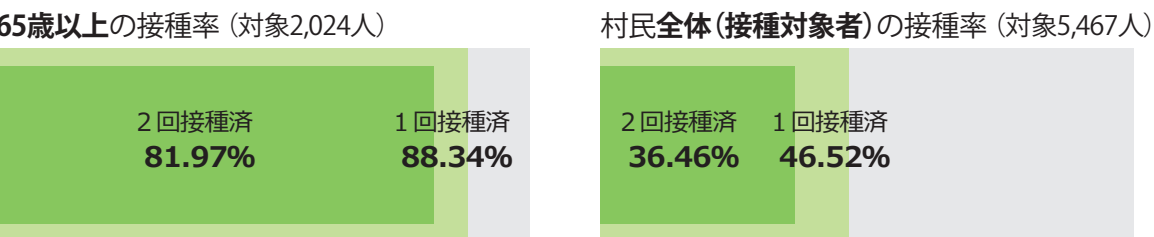
福島市HP <https://www.city.fukushima.fukushima.jp/> ▶



2. 福島市以外の村外にお住まいの方

クーポン券(接種券)、住所地外接種届出済証、予診票を6月に送付しています。接種時期や予約方法は、市町村によって異なりますので、具体的な手続きについては、接種を受ける市町村にお問い合わせください。

ワクチンの接種状況について



※国のシステムに入力された接種記録について集計した8月15日現在の速報値です。

問 健康福祉課健康係(いちばん館内) ☎0244-42-1637

男 性		年 齢	女 性	
佐藤 宗雄 (小宮)		105歳	古川 トミ子 (伊丹沢)	
		101歳	菅野 カツイ (比曽)	
		100歳	桑名 幸美 (草野)	坂本 チヨ (伊丹沢)
			佐藤 ナミヨ (伊丹沢)	愛澤 ハツノ (伊丹沢)
今野 義實 (前田・八和木)			山田 マキヨ (伊丹沢)	阿部 キノ (伊丹沢)
			荒 二三子 (飯樋町)	
		99歳	花井 トヨ (伊丹沢)	田村 マツヨ (比曽)
			志賀 ヨシ子 (蔵平)	馬場 保子 (白石)
大谷 春吉 (小宮)		98歳	大澤 フチノ (上飯樋)	高橋 みつ (前田)
			佐藤 オイシ (伊丹沢)	庄司 ヒデ (伊丹沢)
星 節 (八木沢・芦原)		97歳	北原 清子 (宮内)	菅野 フミ子 (関根・松塚)
			佐藤 ハルヨ (前田)	赤石澤 チイ子 (二枚橋・須堂)
坂本 登 (小宮)		96歳	横田 フミエ (草野)	齊藤 マツヨ (深谷)
			佐藤 フミヨ (伊丹沢)	佐藤 ミサオ (上飯樋)
			五百川 ミツ子 (蔵平)	
			横山 キクヨ (草野)	堀井 リン (草野)
村山 二郎 (深谷)		95歳	庄司 ヤイ子 (伊丹沢)	伊東 シミイ (伊丹沢)
			高倉 アイ子 (関沢)	大内 初子 (関沢)
			小林 ハル子 (小宮)	佐藤 ヨシノ (八木沢・芦原)
			鳴原 キン (飯樋町)	星 ハナヨ (上飯樋)
杉浦 一美 (伊丹沢)		94歳	小山 ましよ (草野)	目黒 晴子 (深谷)
			花井 ハルノ (伊丹沢)	山田 美恵子 (伊丹沢)
			菅野 ウメノ (伊丹沢)	三瓶 ハツヨ (伊丹沢)
			高橋 キヨ子 (小宮)	菅野 カツイ (小宮)
大谷 八郎 (上飯樋)			長谷川 トメノ (宮内)	菅野 千代子 (比曽)
			菅野 アサ (長泥)	杉上 キイ (蔵平)
			杉上 タケ子 (蔵平)	半沢 キクヨ (白石)
			高橋 ヤヨイ (草野)	庄司 マシ (深谷)
志賀 正二 (小宮)		93歳	木幡 トキ子 (伊丹沢)	高倉 カネ子 (関沢)
			渡邊 きみ子 (小宮)	大内 テルイ (佐須)
			菅野 テルヲ (佐須)	高野 チヨ子 (前田・八和木)
			星 志保 (上飯樋)	佐藤 昭子 (上飯樋)
半澤 文男 (八木沢・芦原)			高橋 フヨノ (上飯樋)	
			菅野 宗光 (草野)	新谷 ヨシイ (伊丹沢)
			久保内 亨 (大久保・外内)	長谷川 キミノ (伊丹沢)
				伊藤 八重子 (伊丹沢)
西川 豊信 (宮内)		92歳	高橋 キノ (関沢)	武藤 貞子 (関沢)
			高橋 保子 (小宮)	佐々木 キヨイ (佐須)
			大久保 仲枝 (宮内)	北山 ミツ子 (飯樋町)
			赤石澤 イハ枝 (飯樋町)	佐藤 ミドリ (前田・八和木)
佐藤 利雄 (前田・八和木)			高野 すみ子 (前田・八和木)	高野 タカ子 (前田・八和木)
			村上 エイ子 (上飯樋)	佐藤 ウメヨ (関根・松塚)
			高橋 カオル (関根・松塚)	小山田 ナカ (前田)
			横山 昭雄 (前田・八和木)	但野 カネ (草野)
菅野 武治郎 (比曽)		91歳	松田 ヨシイ (深谷)	市澤 ナヲ子 (深谷)
			末永 ケサ (深谷)	杉浦 ミツ代 (伊丹沢)
			佐藤 ケサノ (伊丹沢)	庄司 ミイ子 (伊丹沢)
			菅野 サワヨ (伊丹沢)	川井 ミドリ (伊丹沢)
菅野 正三 (比曽)			菅野 重子 (伊丹沢)	菅野 ミツ (伊丹沢)
			新妻 春子 (伊丹沢)	郡 玲子 (大倉)
			庄司 ハナノ (小宮)	阿部 トキイ (佐須)
			佐藤 ユキイ (大倉)	北原 シツイ (宮内)
佐藤 睦夫 (比曽)			北山 フヨノ (飯樋町)	佐藤 シケ (飯樋町)
			荒 コフ (飯樋町)	高野 トシヨ (大久保・外内)
			藤井 喜江 (上飯樋)	高橋 チイ (上飯樋)
			鳴原 ワカ子 (長泥)	新妻 キヨ (蔵平)
佐藤 正清 (関根・松塚)			諏訪 ケサヨ (白石)	高橋 ハナ子 (前田)

令和3年 長寿番付 91歳以上の番付です！

● 年齢基準日 令和3年4月1日
● 番付は敬称略で行政区順となっています。

敬老会は中止です

新型コロナの影響で今年の敬老会は中止となりました。来年の開催を心待ちに元気で過ごしてください。

飯舘 百景

過ぎゆく夏の日



鮮やかなヒマワリ畑があちこちに（写真は前田地区）



生育のよさに感心。伊丹沢地区の花壇のサルビア



道端にたくさん咲いたマツヨイグサ（待宵草）



佐須峠に近い観光農園『飯舘村フラワーガーデン』のヒマワリ畑。春のかわいらしいチューリップ畑をがらりと模様替えて、8月13日から9月5日まで一般公開しました。鮮やかに咲いたヒマワリは約25万本。多くの来場者でにぎわいました。

全国的に雨の多い8月でした。涼しい日が続いたり、そうかと思えば蒸し暑くなったり。気温の変化に身体が追いつかないような、不順な天候が続きました。

そんな中でも、村内には、「夏」を感じさせる花々がいきいきと咲いていました。

上の写真は、『飯舘村フラワーガーデン』。一般財団法人ふくしま未来研究会、株式会社ホクシヨウらの共同プロジェクトによる観光農園で、佐須地区の遊休地を活用しています。春のチューリップ畑に次いで、鮮やかなヒマワリ畑が、多くの来場者を迎え入れていました。

また、他にも村内のあちらこちらに、種類もさまざまなヒマワリ畑が出現。地域の皆さんや有志が手入れをする花壇にも、夏の花が元気に咲きました。

青空がなかなか望めないような、雨続きの8月も、こうした花々が村内を彩り、行き交う人を元気づけていました。

また、道端や原っぱでは、マツヨイグサの黄色い花が多く見られました。夕刻に開花し、翌朝にはしほみ始める一日花です。お盆が過ぎると、白く輝くススキの穂も見られるようになってきました。

夏の終わりが近づいていきます。間もなく水田の稲穂が色づき始めますね。

8月3日から6日の4日間、『いいたて希望の里学園』の9年生が、上智大学の学生ボランティアの皆さんとオンラインで交流し、学習支援を受けました。上智大学の学生ボランティアが村を訪れて行う夏休みの交流・支援は、平成26年から6年間続いていました。昨年は新型コロナの影響で実現できませんでしたが、今年は初めてオンラインでの交流に挑戦しました。今後も月に1回程度の学習支援を継続していただきます。

いいたて希望の里学園
後期課程 9年生
×
上智大学

学内や学生生活の様子を見せてもらいました

8/3

楽しみながら
交流ができました

学生と生徒が経験や夢を語る対話の時間

交流を重ねた4日間が終了。画面で記念撮影

最終日は留学生も加わり英語での交流に挑戦

英語でコミュニケーションができてとてもよかった！

8/6

4校の歴史を伝えます

『いいたて希望の里学園』の校舎2階に、閉校した4校『草野小学校』『飯樋小学校』『白石小学校』『飯館中学校』の校旗や貴重な資料が展示されています。

令和2年度に4校を統合する形で誕生した『いいたて希望の里学園』のルーツや、故郷の歩みを知る上で、大きな意義を持つ展示となっています。現在は新型コロナの影響で校舎内への立ち入りが制限されていますが、来校の機会が訪れた際には、ぜひご覧ください。



4校から引き継ぐ数々の資料を展示しています

集火式



左から、いいたてまでいな再エネ発電株式会社の中川喜昭さん（宮内）、いいたて希望の里学園の山田徹校長先生、やすらぎ工房の二瓶貴大さん（草野）

希望の火



『いいたて希望の里学園』の全校生が共同制作した『希望の火』。児童生徒と教職員がラオスに向けた熱い応援メッセージを寄せ書きしました。

再生の火



大火山にある『いいたてまでいな再エネ発電所』の太陽光パネルで発電した電気を着火装置につないで採火した『再生の火』。

復興の火



細い鉄の先端が熱を帯びるまで手槌でたたき、その熱から付け木に火を灯した『復興の火』。種火を一切使わない鍛冶職人ならではの巧みな技術です。

東京2020パラリンピックへ 飯館村の種火に想いを寄せて

8月11日、交流センター「ふれ愛館」にて、『東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「飯館村の種火」集火式』が行われました。共生社会への理解を深めるため、各市町村において、地元産業や伝統行事を生かした独自の手法で種火を起こします。
飯館村では、『希望の火』『再生の火』『復興の火』の3つの種火を、「飯館村の火」として集火。その後浜通りの火、福島県の火と合流して開催都市の東京へと届けられました。



3つの種火を灯したキャンドルは、地域おこし協力隊の大槻美友さん（草野）が今回のために制作したものです。高さは約50cm、いいたてブルーを取り入れた素敵なキャンドルです。

16人の元消防団員へ 村から感謝を伝えます



最前列左から2人目が菊池さん、3人目が井上さん。多年にわたるご尽力ありがとうございました

7月28日、飯館村地域防災センターで、「飯館村消防団退職報償金交付式」が行われました。退職報償金は、5年以上勤務して退職した消防団員の、多年の功績に報いるための功労金です。交付式では、対象の16人の元消防団員を代表して、元第二分団長の菊池昇さん（蕨平）、元第二分団第九部部長の井上潤一さん（前田）へ、杉岡村長が感謝状と共に手渡しました。赤石澤傳団長（飯樋町）は、「活動で得た知識を生活の中で活用していただきたい」と述べました。

リピーター続出の人気企画 寄せ植え教室を開催しました

7月9日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「夏を楽しむ寄せ植え教室」を開催しました。講師は、樹木医の鈴木俊行さん。植物の特徴や、手入れの仕方など、豊富な知識を軽妙なトークで教えてくださいました。

感染症対策を行いながら、30人が受講しました。高さのある鉢に、「ホスタ レモンライム」「赤花オケラ」「アジュガ ピンクライトニング」の3種を植え込み、夏を涼やかに彩る寄せ植えを、それぞれに仕上げていました。



高さを生かしすっきりとまとめられた寄せ植え（左の写真）。熱心にそして楽しそうに寄せ植えに取り組んだ皆さんは、すでに次回が待ち遠しい様子

村内関連企業が協力 「道の日」に合わせ清掃活動



二枚橋地区での活動の様子。暑い中、感染症対策も行いながら清掃を実施しました

「道路ふれあい月間」と8月10日の「道の日」に合わせて、毎年この時期に、各地で道路の清掃活動が行われています。村では、8月6日に、相双建設事務所と地元企業、村の関連部署などが協力して、県道原町川俣線で、清掃奉仕作業を行いました。

当日は、約50人が参加し、交流センター「ふれ愛館」にて出発式を行い、4班に分かれて清掃活動をスタート。安全確保に気を配りながら、路上や道路脇のゴミを丁寧に拾い集めました。

ラオス・ドンニヤイ村に 集会所が完成しました

震災前から交流が続くラオスのドンニヤイ村に待望の集会所が完成しました。この建設には、『いいいて希望の里学園』のホスタタウンプロジェクトによる寄付や、村からの寄付金が活用されています。この交流をつなぐ『アジア教育友好協会』には、現地から「待ちに待った建物ができてうれしい」と感謝の声が届いています。完成した施設は、ドンニヤイ村が属するラオガム郡のワクチン接種会場として早速役立てられます。また地域活動や学校行事などにも使用されるということです。



地域の人も建設作業に加わり完成した集会所の愛称は『DAIC』。希望の里学園の生徒が名付けた『Dongnyai And Iitate Communityhall（ドンニヤイ アンド いいいて コミュニティホール）』の頭文字です。

『ファンズ』移動スーパーが 道の駅で生鮮食品を試験販売



8月21日の様子。通常の移動販売も担当する蓮尾啓司さんが移動スーパーの店頭に立ちます

『いいいて村の道の駅までい館』で、スーパーマーケット『ファンズ』川俣店の移動スーパーによる生鮮食品の試験販売を行っています。販売は8月7日にスタートし、お盆期間の週末は2日連続で。以降も土曜日ごとに正午からの試験販売を行って、検証の結果を、買い物環境の向上につなげていきます。品揃えの豊富な移動スーパーですが、この試験販売では、肉や魚などの生鮮食品のみを扱い、『ファンズ』の店頭と同じ価格で販売しています。ぜひご利用ください。

東北楽天イーグルスから 応援のキャップが届きました

プロ野球チーム『東北楽天ゴールデンイーグルス』が6月に実施した『がんばろう東北シリーズ』。震災を風化させず、東北から元気を発信するために始まったこのシリーズは10回目を迎えました。シリーズ中には、東北227市町村名のロゴ入りキャップを、選手・監督・コーチが着用しました。飯館村のロゴを背負ってくれたのは、鈴木大地選手（内野手・背番号7）。8月4日に球団関係者が来庁し、鈴木選手の実着サイン入りキャップと写真パネルを村に寄贈していただきました。



高橋副村長（左）が球団広報部の小池聡さん（右）からキャップと写真パネルを受け取りました

話題のパレット

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

いいたての香りをアロマに



地域おこし協力隊の大槻美友さん（草野）が、「飯館村っぽい」香りのアロマオイル開発に取り組んでいます。7月28日には、さまざまな香りのサンプルを元に、村役場でアンケート調査を実施。昼休みには職員が会場を訪れ、飯館村のイメージに合う香りをそれぞれの感性で探りつつアンケートに答えました。

夢のなつはぜワインを試作



「ニコニコ菅野農園」（菅野クニ代表／宮内）が、農園で生産するナツハゼ100%のワインを試験醸造。10kgのナツハゼで、500ml瓶10本を試作しました。菅野さんが、農園を立ち上げる時から心に描いていた夢のワイン…二本松市の醸造所「ふくしま農家の夢ワイン」の協力を得て、10年越しの夢が形になりました。今後の展開にも注目です。

道の駅までい館は4周年！



『いいたて村の道の駅までい館』が8月12日に開業4周年を迎えました。新型コロナの影響で予定されていたイベントは中止となりましたが、開業記念日限定の「記念特別きっぷ」（非売品）を配布するなど利用客に感謝を伝えました。また、スタッフが編集や制作を手がけた新しいパンフレットが完成！までい館の魅力や村内の見所を見やすく紹介しています。

はなれていても

中川 昭さん（宮内）福島県郡山市在住



震災の時は小学6年生でした。卒業式ができなくなり、その年の冬に改めて式を開いてもらったことを覚えています。新潟の親戚の家に避難した後、川俣町、そして福島市に引っ越しをしながら、飯館中学校の仮設校舎に通いました。仮設にあっても自分にとっては楽しい学校生活でした。仮設住宅への訪問や、外部から来る方との交流

などを通して、自分の世界が広がったと思います。村の自宅に立ち寄った時のさびしい気持ちには仕方がないと割り切るしかありませんでした。当時の先生にいろいろな面で助けていただき、憧れを抱いて、教職を目指しました。大学3年生の時には小学校、4年生の時には中学校、それぞれ村内に戻った母校で教育実習をさせてもらいまし



4月から勤務する須賀川市の小学校にて。聖火リレーに参加した地域の方が「子ども達に見せてあげて」とトーチを持って来てくれた時の1枚です。「私もトーチを持たせてもらいました。先生方をはじめ周りの皆さんに支えられて毎日を過ごしています！」

た。楽しかったですね。子ども達も村を知りたいための授業や取り組みが新鮮でした。今年から小学校の教諭として勤務しています。休日に時間ができると、兄と二緒には、やま湖に釣りに行きます。懐かしい通学路などを眺めながら村内を歩き来して、皆さんが頑張っていることを感じています。いつか自分も村立学校で、村の子ども達を教えたいと夢見ています。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

SDGs（エスディージーズ）を身近に

世界が抱えるさまざまな課題に向き合うための17の目標と169の具体的なターゲットを掲げるSDGs（持続可能な開発目標）。各国が取り組みを進め2030年までの達成を目指しています。このSDGsを身近に分かりやすく伝える本です。ぜひ活用ください。



SDGsの実践
自治体・地域活性化編
村上周三・遠藤健太郎・藤野純一・佐藤真久・馬奈木俊介 著
発行：事業構想大学院大学出版社



こどもSDGs
なぜSDGsが必要なのかわかる本
バウンド 著
秋山宏次郎 監修
発行：カンゼン

● 交流センターの図書コーナーをぜひご利用ください。貸出時間は平日の午前8時30分から午後5時までです。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎0244（42）0072

入札結果をお知らせします

入札日／7月16日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
公営住宅インターホン設置工事	5,145,685円	(有)長谷川電気工事	令和4年 3月下旬
災害関連農村生活環境施設復旧事業・ 福島再生加速化交付金事業 農業集落排水管路工事（草野字大師堂地内）	33,640,564円	荏原実業(株) 東北営業所	令和4年 3月下旬
村道除草事業	1,980,000円	(株)東栄	令和4年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事(水路工)伊丹沢地区 第3回工事	42,240,000円	(株)東栄	令和4年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事（水路工） 前田・八和木地区 第3回工事	45,100,000円	(有)福相建設	令和4年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農業基盤整備工事(水路工)上飯樋地区 第5回工事	44,990,000円	(株)英工務店	令和4年 3月下旬
営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1) ため池補修測量設計業務（屋敷入ため池外）	6,160,000円	(株)福建コンサルタント	令和4年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘東部その2） 測量設計業務委託	45,540,000円	(株)福建コンサルタント	令和4年 3月下旬
農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事 測量設計業務（向押ため池外）	35,750,000円	福島県土地改良事業団体連合会	令和4年 3月下旬
農業基盤整備促進事業(飯舘西部その2) 農道舗装工事 白石大火線 第2回工事	25,960,000円	(有)福相建設	令和4年 3月下旬
農業基盤整備促進事業（飯舘西部その2） 農道舗装工事 七郎内二ッ森線外 第2回工事	24,310,000円	濱田建設工業(株)	令和4年 3月下旬
林道舗装工事 滝下線	27,610,000円	(株)英工務店	令和4年 3月下旬
学校施設環境整備工事	9,075,000円	庄司建設工業(株)	令和4年 3月下旬
パークゴルフ場ポンプ増設工事	2,442,000円	庄司建設工業(株)	令和4年 3月下旬



お知らせ

飯舘村議会議員選挙が行われます

任 期満了に伴う飯舘村議会議員一般選挙が、左記の日程で行われる予定です。飯舘村と私達の未来につながる大切な選挙です。棄権せずに投票しましょう。

飯舘村議会議員一般選挙

- 告示日
9月18日(土)
 - 投票日
9月26日(日)
 - 投票日の投票時間
午前7時～午後6時
 - 期日前投票
9月19日(日)～25日(土)
- ※なお詳しくは送付される〈選挙のお知らせ〉をご覧ください。

問 飯舘村選挙管理委員会
(総務課総務係内)
☎ 0244-42-1611

農地利用最適化推進委員に郡さん



飯舘村農業委員会の農地利用最適化推進委員として、8月20日、郡之雄さんに委嘱状が交付されました。郡さんは大倉地区を担当します。郡さんの就任により、農業委員と農地利用最適化推進委員合わせて20人となり、20行政区をそれぞれ1地区ずつ担当することになります。任期は令和6年7月7日までとなっています。

農地利用最適化推進委員

担当地区:大倉



郡之雄 さん(大倉)

8月の村の動きと主なできごと

- 1日・佐須地区ほ場整備事業説明会（佐須公民館）
- 2日・第43回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 教職員夏季研修会（いいたて希望の里学園）
- 3日・教職員村内めぐり研修（村内各所）
- 3～6日・9年生と上智大学のオンライン交流及び学習支援（いいたて希望の里学園）
- 4日・第44回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 東北楽天ゴールデンイーグルス「がんばろう東北シリーズ」飯舘村入りキャップ寄贈（村役場）
- 6日・道路清掃奉仕作業（県道原町川俣線）
- 乳幼児健診（いちばん館）
- 7～8日・プール開放（いいたて希望の里学園屋内プール）
- 8日・上飯樋地区ほ場整備事業説明会（上飯樋集会所）
- 10日・第45回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 飯舘の種火「再生の火」採火（いいたてまでいな太陽光発電所）
- 11日・飯舘の種火「復興の火」採火（やすらぎ工房飯舘工場）
- 飯舘の種火 集火式（交流センター「ふれ愛館」）
- 16日・第46回新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 20日・農業委員会定例総会（村役場）
- 22日・長泥地区ほ場整備事業説明会（福島県青少年会館）
- 村民グラウンド・ゴルフ交流会（中止）
- 23日・東北復興宇宙ミッション2021 飯舘村産工ゴマ帰還式（村役場）
- 24日・第3回オカリナ教室（交流センター「ふれ愛館」）〈中止〉
- 26日・定例教育委員会（村役場）
- 29日・力ヌー体験（北塩原村・松原湖）
- 新田川拡幅改修工事・深谷地区基盤整備工事説明会（深谷集会所）
- 伊丹沢農地中間管理事業調印式（伊丹沢集会所）
- 大久保・外内農地中間管理事業調印式（交流センター「ふれ愛館」）
- 30日～9月10日・9月議会定例会（村議場）

「ふるさと資源」発掘図鑑

掲載についてお問い合わせは村づくり推進課企画係
☎0244-42-1613までお気軽に。

お気に入りの景色、ふるさとを感じるモノ、自分が打ち込んでいるコトなど、あなたの「推し」を教えてください。

『村民の森あいの沢』管理人の高野靖博さんから情報をいただき、8月5日には湿地の奥でサギソウの群生を確認、また同20日には雨上がりの遊歩道がやわらかな苔のじゅうたんに覆われている光景を目にしました。豊かな自然の息吹が感じられます。



季節ごとに表情を変える「あいの沢」。自然に咲く花を大切に守っています。遊歩道が緑に染まったのは初めて見ました。



高野靖博さん（あいの沢管理人）



昭和11年に書かれた松塚地区の「農事実行組合」の資料。手書きの文字で規約や名簿が記されています。地域が力を合わせて農業振興に取り組んでいた様子がうかがえます。

当時組合長をしていた親父が遺した資料です。本人が書いたものではないでしょうか。仏壇を整理して久しぶりに手に取りました。



山田東北男さん（関根・松塚）



結婚おめでとう

氏名 出身地
杉浦 由憲 伊丹沢
佐藤 亮子 川俣町

いつまでもお幸せに



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前 親の氏名 行政区
庄司 昊良くん 和哉・志帆 関沢



おくやみ

氏名	年齢	行政区
大東 春子	103	宮内
佐藤 スイ子	89	伊丹沢
庄司 隆 陳	84	関根・松塚
木幡 邦夫	87	八木沢・芦原
大谷 キミノ	91	二枚橋・須萱
菅野 政信	83	大久保・外内
赤石澤 クニ	88	小宮
佐藤 ミツイ	84	二枚橋・須萱

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき

(令和3年7月31日現在)

人口	今月(前月比)
男	2545人 (-6)
女	2538人 (-7)
計	5083人 (-13)
世帯数	1816戸 (+1)

7月1日～31日までの

◆人口動態◆

人口動態	人数
転入	5人
転出	12人
出生	0人
死亡	6人

(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

<人事異動のお知らせ>

8月1日付 健康福祉課健康係復帰 斎藤愛子(福島市派遣)
8月1日付 飯舘村社会福祉協議会出向 菅野純子(村づくり推進課定住交流係)

地域おこし協力隊 いいたてDIARY

ダイアリー

目に見えない敵との戦いが長期戦になり、私達協力隊の活動も、村内での催しや、進めていたイベントが中止になるなど、制限を強いられている状況です。しかし、そんな中だからこそ先々を見越した時間の有効活用と、脳みそと心を柔軟にして捕らえる事の出来る発想の転換が重要なのだと感じています。

まずは、ずっとやりたかったけど出来ずにいた、漬物の師匠に古漬けを習い、大自然や花に触れ、飯舘村の風土を知る。そして極め付けは、飯舘の母ちゃんの味を知りたいと言うこじつけで、夕飯のおかずを貰って帰ってくる。

飯舘最高！



今月のライター

飯舘村地域おこし協力隊
二瓶 麻美さん



次号から
始まるよ！

おいしい飯舘！ までの食卓

次号から、新コーナーがスタートします。農作物の生産者さんから、「我が家はこれがお気に入り」という野菜の調理法や、食材の知られざるおいしい食べ方、定番メニューの一工夫などを教えていただくコーナーです。飯舘ならではの「までの食卓」が登場します。一緒においしく楽しみましょう。

※今回の写真はイメージであり
実際の企画とは異なります



ハボキヤの実も
トッピング！



ハボキヤの新芽のピザ



刻んで
たっぷり！

行者ニンニク入り餃子

「もっといろいろな食べ方をしてみたいなあ」「この野菜気になるけどどうやって食べるとおいしいの？」など「これが知りたい！」というリクエストをお待ちしています。また「この食べ方を広めたいなあ」という生産者さんからの情報もぜひお寄せください。自薦他薦は問いません。

東北復興宇宙ミッション2021 宇宙を旅した飯館のエゴマ(じゅうねん)が帰還

一般社団法人ワンアースによる「東北復興宇宙ミッション2021」は復興する東北の姿と支援への感謝を世界に発信するプロジェクト。これに参加した飯館村のエゴマは6月にアメリカから国際宇宙ステーションに打ち上げられ、約1か月間宇宙を旅して帰還しました。



右から「ワンアース」の長谷川洋一代表理事、エゴマ生産者「結い農園」代表の長正増夫さん(大久保・外内)、齊藤次男さん(深谷)、杉岡村長

海を渡り宇宙を旅したのは村民が生産したエゴマ約10グラム。帰還式は8月23日に村役場で行われ、帰還したエゴマと、山崎直子宇宙飛行士の直筆サインが入った「フライト証明書」が届けられました。生産者代表は「今まで以上に大切に取り組みたい」「エゴマの健康効果を広めたい」と、杉岡村長は「村の子ども達にも今後の過程に関わってほしい。新たな産品に育て上げながら、村の魅力を発信したい」と、それぞれに意欲を語りました。

エゴマが「じゅうねん」と呼ばれるのは「食べれば10年長生きできるから」と伝わります。道の駅ではエゴマの実やエゴマ油、菓子などを販売中。宇宙エゴマの今後の展開に、期待が高まります。



ボックス内の袋の中が帰還したエゴマです。種まきは来年5月頃の予定です。



〈編集後記〉
● 今月号は、久々に「ひとのうごき」に明るい話題が入り、ハッピーな気持ちになりました。こんな時代だからこそ、命の尊さや未来について考えることが増え、小さな幸せが当たり前ではないことに気づかれます。明るく楽しい未来を信じて、前を向いて突き進んでいきま

しよう!(菅野)
● P22で予告のコーナー。料理のイメージ写真は、取材を通して教わった食べ方を自宅で試した時のものです。ご協力頼みの企画で恐縮ですが、おいしさや楽しさと共に、村の農作物の魅力もお伝えしたく…取材依頼があつた際には皆様何卒よろしくお願ひします。(星)

Native Speakers 第5回

ネイティブ・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち



よかったらこれみそでいびって

その意味は…



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で!

飯館村 YouTube